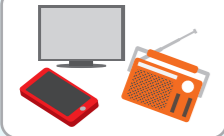





3 防災情報の入手 (どのような情報が出されるかを知っておきましょう)

気象庁等  市民の皆さん

大雨が降り続いたり、地震が発生すると、ため池が決壊する可能性が高まります。テレビやインターネット等を通じて、気象庁等が発表する大雨や地震に関する防災情報等を入手してください。

気象情報等の入手先 気象庁  京都府土砂災害警戒情報 



■大雨・洪水に関する情報

気象状況	大雨の数日 ～約1日前	大雨の半日 ～数時間前	大雨の数時間 ～2時間程度前	大雨が一層 激しくなる	警報の発表基準を はるかに超える大雨
発表する情報	今後気象状況 悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生又は切迫
市民がとるべき行動	災害への心構えを 高める	自らの避難 行動を確認	危険な場所から 高齢者等は避難 (高齢者等以外の人も必要 に応じて自主的に避難)	危険な場所から 全員避難	命の危険 直ちに安全確保!
警戒レベル	警戒レベル1 早期注意情報 (警報級の可能性)	警戒レベル2 大雨注意報 洪水注意報等	警戒レベル3相当 大雨警報 洪水警報等	警戒レベル4相当 土砂災害警戒情報等	警戒レベル5相当 大雨特別警報等

4 避難時の心得 (避難する時のリスクも知っておきましょう。無理な場合は自宅の高い場所へ)

歩いて避難できる深さは、ひざ下程度です。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。



ため池決壊による浸水被害は、貯まっている水が流出し終われば収まるため、短時間で水位が下がります。浸水が差し迫った場合は、むやみに移動するのではなく、高い丈夫な建物にとどまる等、命を守る行動をとってください。



浸水の深さが30cmを超えると自動車は走行困難になります。



裸足や長靴は危険です。運動靴で避難しましょう。



動きやすい服装で、必要最低限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。



マンホールや排水溝に気を付け、棒等を使って足元を確認しましょう。



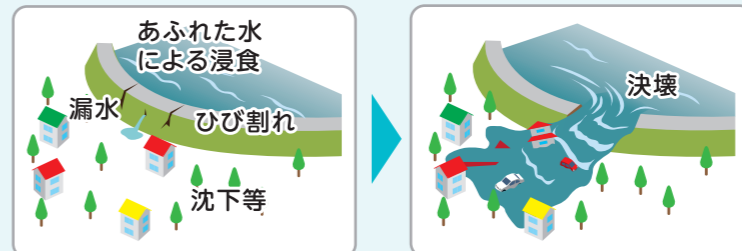
火の元と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親類や知人等に避難することを連絡しておきましょう。



とどき池ハザードマップ

「ため池ハザードマップ」は、大雨や地震によって、ため池が決壊した場合に想定される浸水の範囲や深さと、避難に役立つ情報を取りまとめたものです。いざという時にあわてず適切な避難行動がとれるように、ハザードマップの内容を確認して、日ごろからの備えに役立ててください。

1 ため池の決壊について (大雨時や地震発生時には注意してください)



- ため池災害の特徴**
- 地震時は予兆なく決壊する場合があります。
 - 決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
 - ため池の直下では大きな被害になることもあります。

大雨が降り続いたり、地震が発生した際は、ため池の堤防が損傷を受け、決壊するおそれがあります。大雨が降っている時や地震直後のため池は危険ですので、近づかないようにしてください。

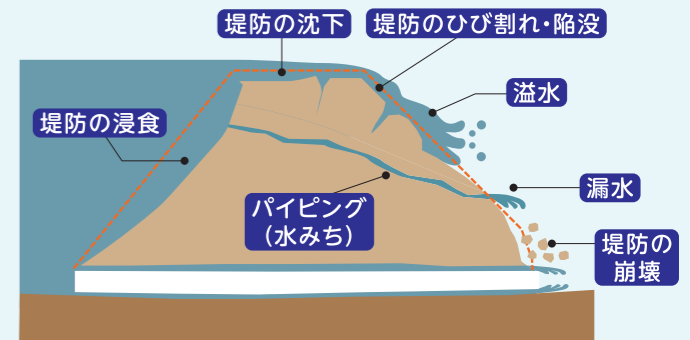
■こんな時、ため池が危ない!!

大雨時

- ・堤防に漏水が発生している場合
- ・堤防の一部が崩壊したり、ひび割れや陥没、沈下が発生した場合
- ・水位が急激に上昇し、堤防を越えて水があふれ出している場合

地震時

- ・堤防内にパイピング(水みち)ができて、漏水が発生している場合
- ・堤防の一部が崩壊したり、ひび割れや陥没、沈下が発生した場合



2 ため池ハザードマップの活用方法 (日ごろからの備えが大切です)

[1] 想定される浸水区域や深さ等をチェックしましょう。

- 浸水の深さやはん濫水の到達時間を確認しましょう。



[2] 命を守るための行動を考えましょう。

- 自分の家の浸水状況、建物や家族の状況を踏まえ、もしもの時に命を守るためにはどのような行動をとるべきかを考えてみましょう。



[3] 市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ため池が決壊する場合は、大雨や地震等による他の災害が複合的に起きている可能性があります。市では、水害・土砂災害・地震を対象としたハザードマップも公表しているため、このマップと併せて活用し、日ごろから災害に備えましょう。



避難の時は、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。他の災害に関しては、市ホームページの「京都市防災ポータルサイト」をご確認ください。

インターネットで検索

京都市防災ポータルサイト



とどき池ハザードマップ

はん濫シミュレーションの条件

※ここに示した浸水想定区域は、ため池が満水状態で、堤防が一気に決壊し、全貯水量が流れ出す場合を想定し、はん濫解析を行ったものです。決壊を仮定した地点は堤防の内側・外側で高低差が大きく、被害がより大きくなる箇所を選定しています。

※河川はん濫や下水道等があふれる内水はん濫、土砂災害等の災害は考慮していません。

地図を見る上での留意事項

※はん濫水は時間ごとに土地の高い所から低い所へ移動します。地図上の浸水の深さは、各箇所での最大値を示しています。

※想定を超える事態や不測の事態が起こった場合、地図上に示した以外の範囲においても浸水被害が発生する可能性があります。

ハザードマップに示された浸水範囲や浸水の深さ、到達時間等はあくまでも目安であり、災害時には、浸水が想定される区域から移動する等、状況に応じた柔軟な行動を心掛けてください。

とどき池
 堤高：7.65m
 貯水量：6,610m³
 25mプール約13杯分
 ※プールを500m²で換算

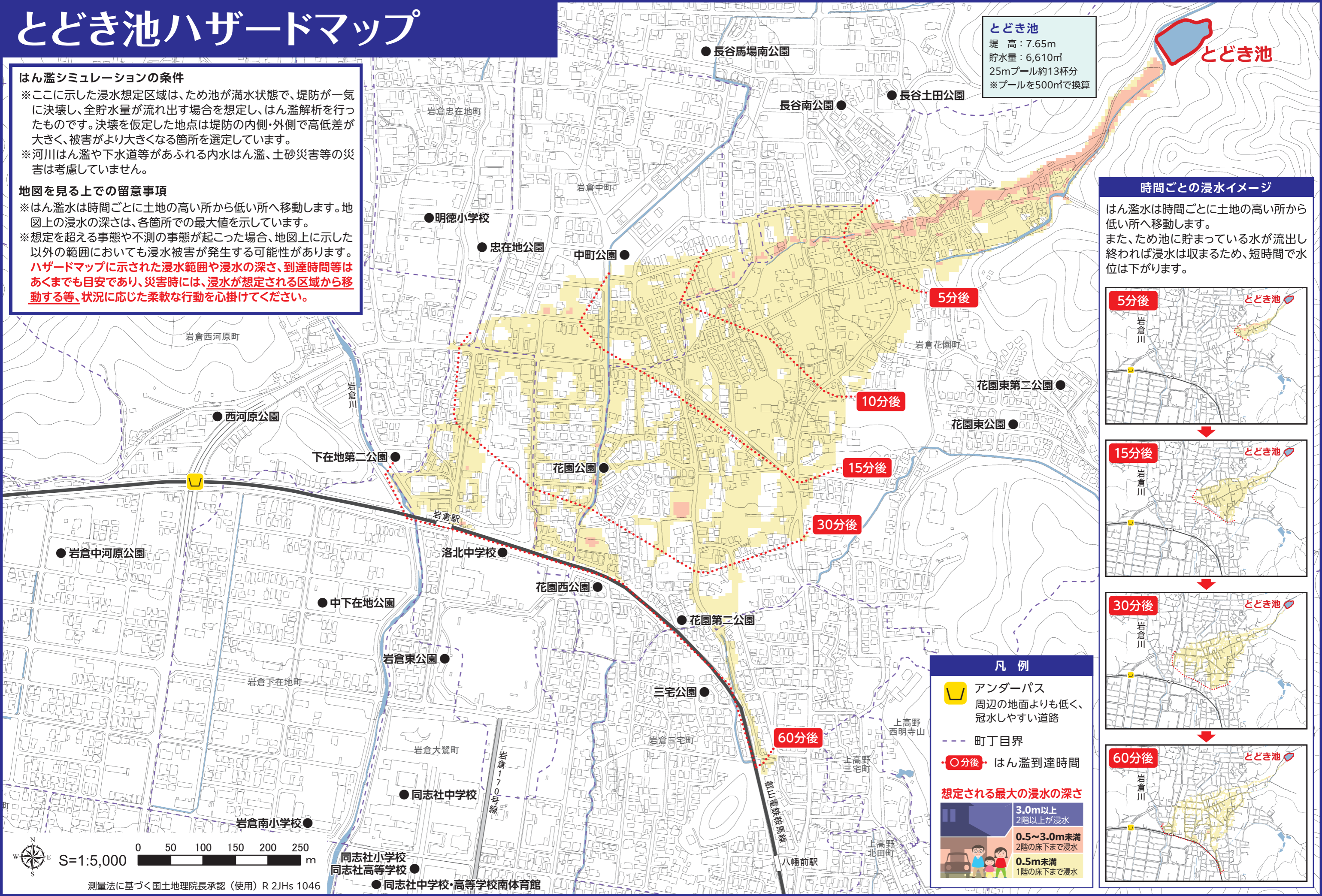
時間ごとの浸水イメージ

はん濫水は時間ごとに土地の高い所から低い所へ移動します。また、ため池に貯まっている水が流出し終われば浸水は収まるため、短時間で水位は下がります。



凡例

- アンダーパス
周辺の地面よりも低く、冠水しやすい道路
 - 町丁目界
 - 分後 ○ はん濫到達時間
- 想定される最大の浸水の深さ**
- | | |
|--|-------------------------|
| | 3.0m以上
2階以上が浸水 |
| | 0.5~3.0m未満
2階の床下まで浸水 |
| | 0.5m未満
1階の床下まで浸水 |



0 50 100 150 200 250 m
 S=1:5,000

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 2JHs 1046